

新日軽 ウイングエッジ 施工説明書

このたびは、新日軽「ウイングエッジ」を お買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。

◎組立・施工の前に

- 本施工説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工に当たっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この施工説明書および同梱されている「取扱説明書」は施工後必ず施主様へお渡しください。

○注意（設置場所・設置位置について）

- この商品は一般地域用です。積雪地域・寒冷地域には取付けないでください。
- この取付説明書の3ページに記載の塀との位置関係を確認してください。
- 大屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- カーポート「EDGE」と連結する場合は「EDGE連結ひさし」取付説明書ME-2040も合わせて参照してください。

○施工時の注意事項

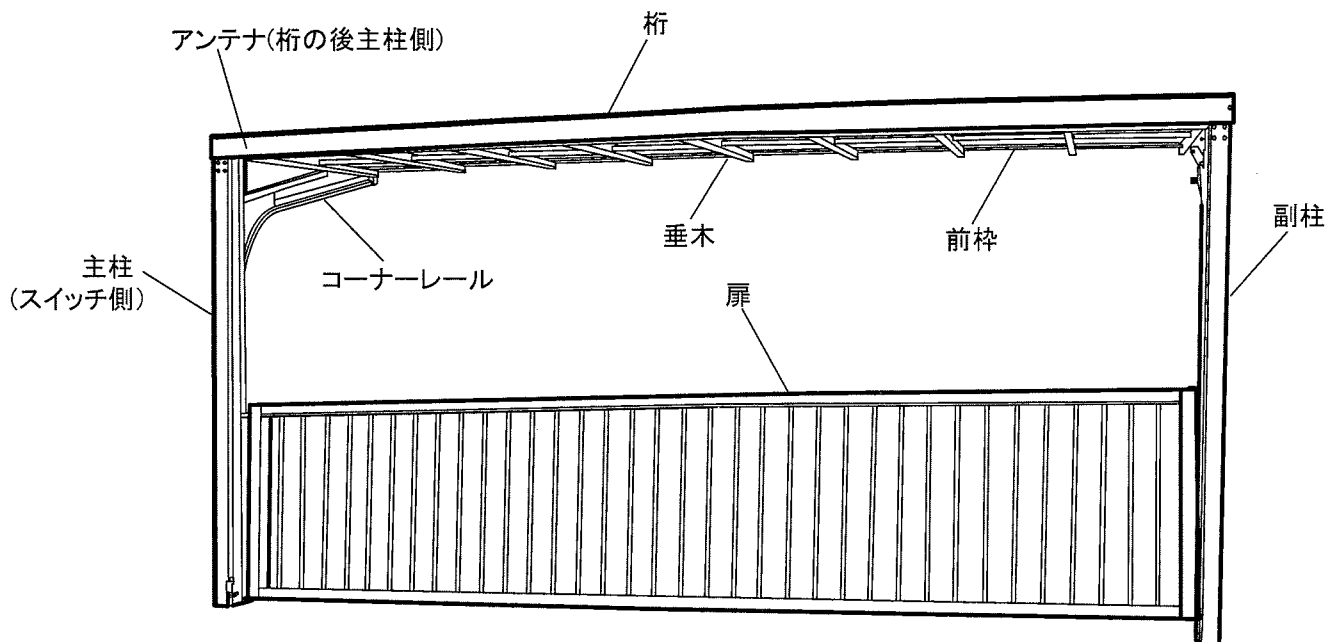
- 止水用シーリング剤は「ポリカーボネイト・アクリル用」と表記のあるアルコール系シーリング剤をご使用ください。
- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますので使用を避けていただくか、十分に水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていない物をご使用ください。
- アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか 接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱をすると使用者が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

一 目 次

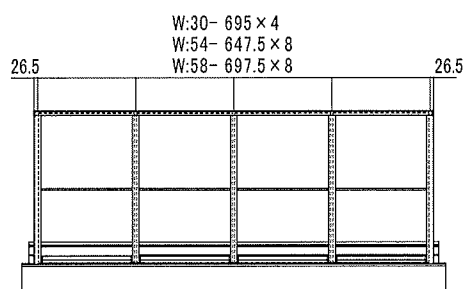
組立・施工の前に・注意・施工時の注意事項	1	屋根の取付け	10
各部の名称・基本図	2	扉の取付け	11
基礎寸法表	3	シャフトの連結・コネクタ類の接続	12
カーポートとの位置関係・塀との位置関係	3	カバー・キャップ類の取付け	13
梱包表・梱包説明書	4	レールフタの取付け・雨樋の組立	14
梱包説明書	5	初期設定	15
柱を立てる・桁の取付け	6	作動確認	16
寸法確認・前枠の取付け	7	停電時手動開閉の作動確認	17
方杖・レール支え・コーナーレールの取付け	8	光電センサーの合わせ方	18
アンテナ・ウインチの取付け	9	施工後の確認	19

【各部の名称】

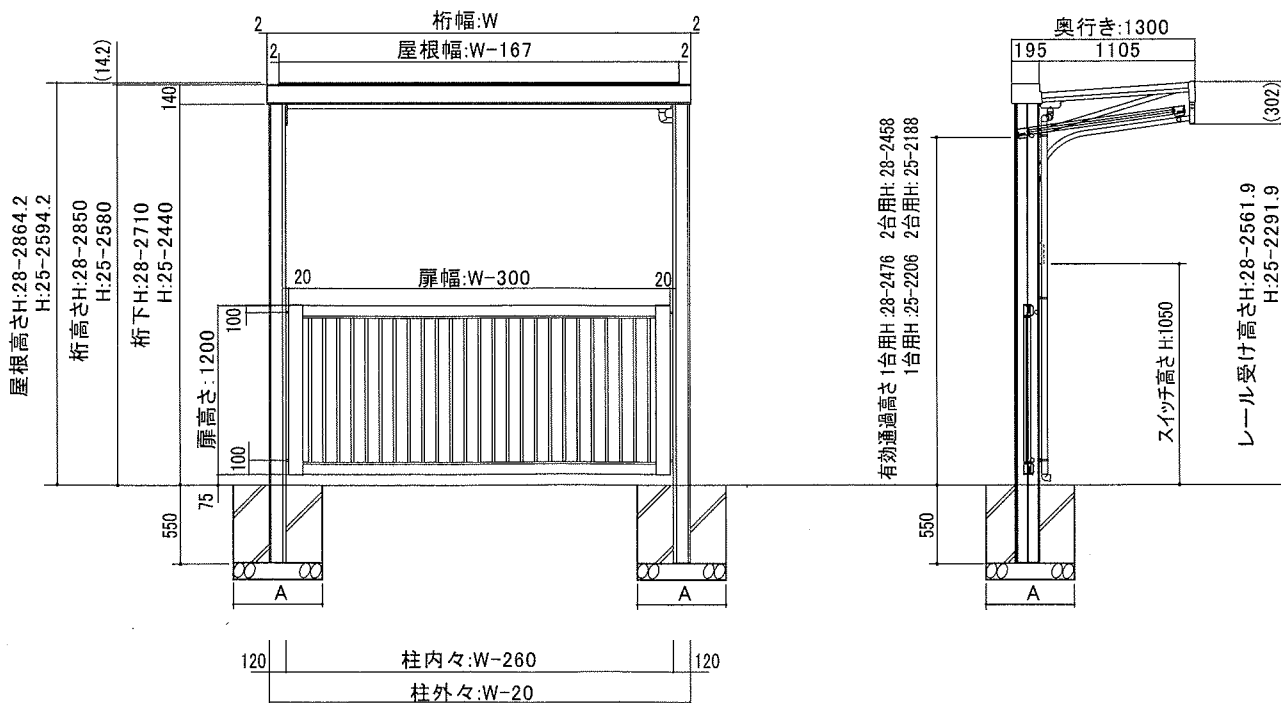


【基本図】屋根付き

本図はW=30屋根付きを示す

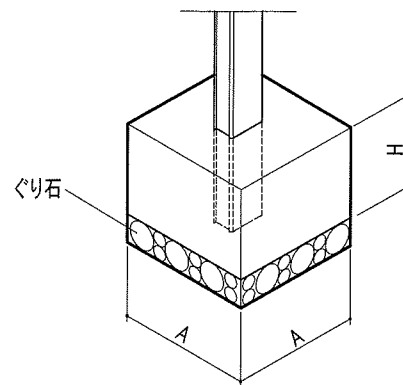


製品呼称	W 寸法
W:30	3000
W:54	5400
W:58	5800



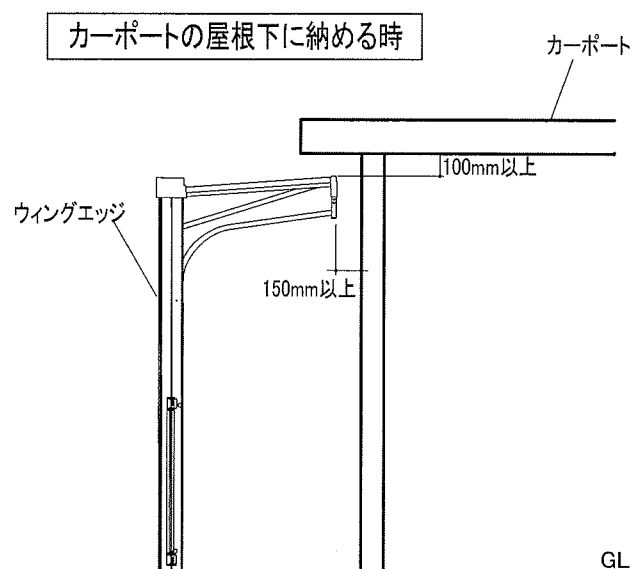
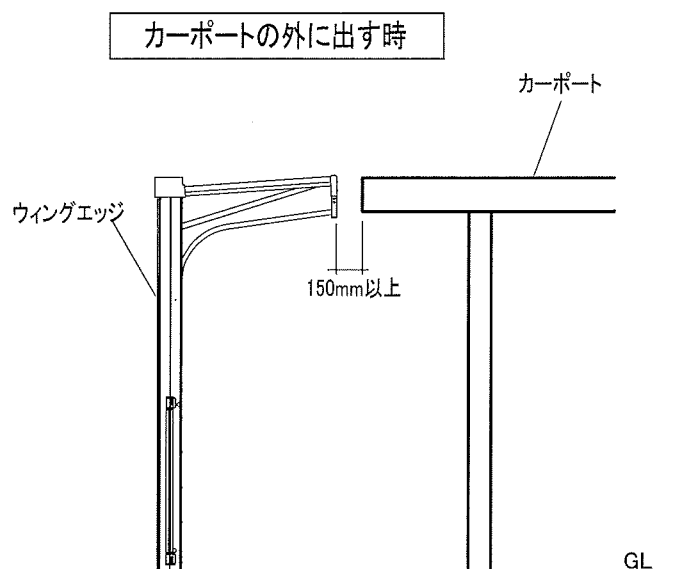
【基礎寸法表】

仕様・本体寸法			扉:h	基礎寸法	
	W	H		A	H
屋根なし	30	25	12	550	550
	30	28	12		
	54	25	12	550	550
	54	28	12		
	58	25	12		
	58	28	12		
屋根付き	30	25	12	550	550
	30	28	12		
	54	25	12	600	550
	54	28	12		
	58	25	12		
	58	28	12		



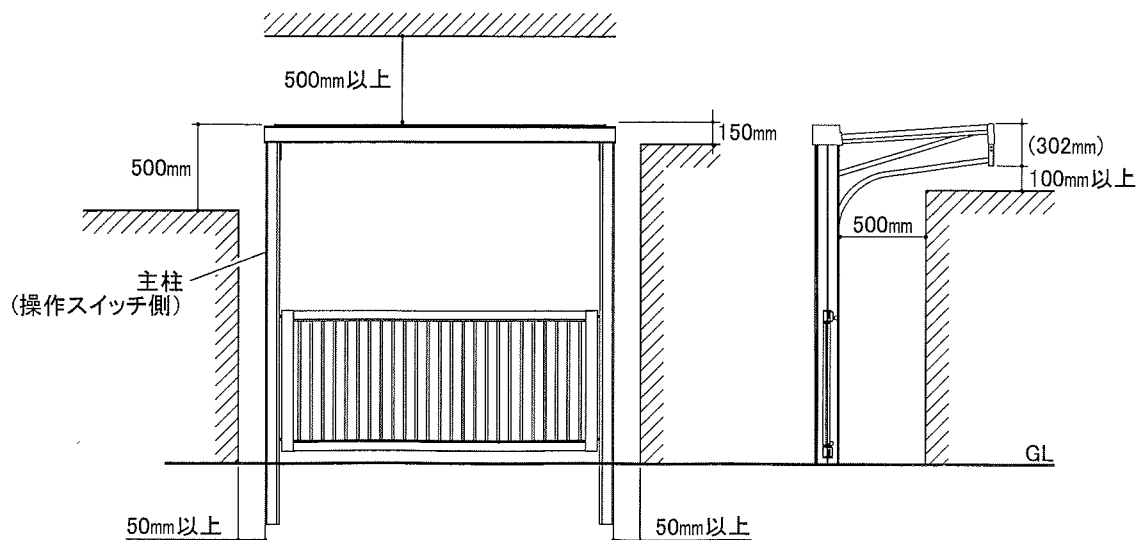
【カーポートとの位置関係】

※ EDGE連結ひさしを用いてカーポートEDGEと連結する場合は「EDGE連結ひさし」
取付説明書(ME-2040)を合わせて参照してください。



【 塀との位置関係 】

※ 柱側面および家側は、メンテナンスのための窓がありますので、塞がないようにしてください。
また、桁の横および上面は、施工・メンテナンスができなくなりますので、塞がないようにしてください。



【 梱包表 】

屋根なし

	W30		W54		W58	
	H25	H28	H25	H28	H25	H28
桁	1	1	1	1	1	1
主柱	1	1	1	1	1	1
副柱	1	1	1	1	1	1
コーナーレール	1	1	1	1	1	1
前枠 屋根なし	1	1	1	1	1	1
扉	1	1	1	1	1	1
部品箱 屋根なし	1	1	1	1	1	1

※光電センサー付の場合：主柱、副柱が光電センサー付となります。

屋根付き

	W30		W54		W58	
	H25	H28	H25	H28	H25	H28
桁	1	1	1	1	1	1
主柱	1	1	1	1	1	1
副柱	1	1	1	1	1	1
コーナーレール	1	1	1	1	1	1
前枠 屋根付き	1	1	1	1	1	1
扉	1	1	1	1	1	1
屋根材	1	1	2	2	2	2
部品箱 屋根付き	1	1	1	1	1	1

※光電センサー付の場合：主柱、副柱が光電センサー付となります。

【 梱包説明書 】

名 称	部 材 名	略 図	W30	W54 W58
桁	桁		1	1
	桁カバー1		1	1
	桁カバー2		1	1

名 称	部 材 名	略 図	H25	H28
主柱	主柱 (操作スイッチ側)		1	1
	主柱カバー上		1	1
	主柱カバー下		1	1
	後レールフタ		2	2
	後レールフタ (光電センサー付 の場合)	 × 4	主・副 各1式	主・副 各1式
副柱	副柱		1	1
	副柱カバー		1	1

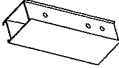
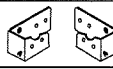
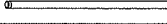
名 称	部 材 名	略 図	共 通
コーナー レール	コーナーレール 右・左		左右各1
	手動操作 ハンドルセット		1式
	安全カバー右・左		左右各1

名 称	部 材 名	略 図	W30	W54 W58
前枠セット 屋根なし	前枠 屋根なし		1	1
	方杖右・左		左右 各1	左右 各1

名 称	部 材 名	略 図	W30	W54 W58
前枠セット 屋根付き	前枠 屋根付き		1	1
	雨樋		1	1
	方杖右・左		左右 各1	左右 各1
	中間押え材		3	7
	端部押え材		2	2
	後枠ピース		4	8
	後枠ピース取付材		4	8
	丸樋		1	1
	エルボセット		1	1

名 称	部 材 名	略 図	W30	W54 W58
扉	扉		1	1
	縦框 キャップセット		1	1

【 梱包説明書 】

名 称	部 材 名	略 図	W30	W54 W58
部品箱	レール受け右・左		左右 各1	左右 各1
	レール受け 取付金具		4	4
	レール受け 取付金具裏板		2	2
	レール受け取付金具 取付ボルト6×12		4	4
	レール受け キャップ		2	2
	レール受けキャップ 取付ビス セルフリングビス4×16		2	2
	方杖取付金具下 (左右)		左右 各1	左右 各1
	方杖取付金具下 取付ビス M4×10サコネジ		4	4
	方杖取付ボルト 十字穴付 六角ボルト6×45		4	4
	方杖取付ビス トラスネジ M4×10		2	2
	ウインチ		1	1
	ウインチ裏板		1	1
	ウインチ取付ネジ ナベコネジ 6×40		3	3
	ウインチシャフト		1	1
	ウインチシャフト取付ビス ナベコネジ 4×16		3	3
	アンテナ(ナット・座金)		1	1
	扉取付金具上		2	2
屋根付きのみ	扉取付金具下		2	2
	扉取付六角ボルト Wセムス 8×16		8	8
	雨樋取付ビス セルフリングビス4×16		21	21
	後枠ビス付ビス セルフリングビス4×16		18	34
	押え材取付ビス トラスネジ 4×10 ワッシャ付		37	65
	雨樋キャップ右・左		左右 各1	左右 各1
	雨樋キャップ取付ビス トラスタッピン4×16 屋根付きのみ		6	6

名 称	部 材 名	略 図	W30	W54 W58
部品箱	桁キャップ右・左		左右 各1	左右 各1
	桁キャップ取付ビス トラスコネジ 4×10		6	6
	前枠キャップ右・左		左右 各1	左右 各1
	前枠キャップ取付ビス セルフリングビス4×10		4	4
	柱カバー		4	4
	柱カバー取付ビス トラスコネジ 4×10		29	29
	主柱側面カバー		1	1
	主柱側面カバー 取付ビス トラスコネジ 4×10		4	4
	後レールフタ 保護金具		2	2
	保護金具取付ビス セルフリングビス4×16		2	2
	リミットカバーフタ		2	2
	六角棒レンチ (対辺4)		1	1
	アンカー棒 Φ9×200		2	2
	柱桁組付ネジ 六角ボルト Wセムス8×16		12	12
	前枠組付ネジ 十字孔付六角ボルト 6×12		6	6
	コーナーレール組付ネジ 十字孔付六角ボルト 6×12		2	2
	コーナーレール組付ネジ トラスコネジ M4×10		8	8
	桁カバー1.2組付ネジ トラスコネジ M4×10		14	14
	側面安全カバー 組付ネジ トラスコネジ M4×10		8	8
	側面安全カバー 組付ネジ セルフリングビスM4×40		4	4
	リモコン送信機		1	2
	施工説明書		1	1
	取扱説明書		1	1



注意

シーリング剤は「ポリカーボネイト・アクリル用」と表記してあるアルコール系シーリング剤をご用意ください。(市販品)

【組立手順】

1 柱を立てる

※ AC100Vは外観左側に持ってきてください。

- ① 配線は図のように行ってください。
CD管は柱内部を通して、GLより
130mm程度立ち上げてください。

過電流保護付
漏電ブレーカー(別途用意)
(松下電工
品番BJS1521相当品)

注意1

- ・AC100V線の施工に関しては、電気工事の有資格者に依頼してください。
- ・施工には、別途過電流保護付漏電ブレーカー及び埋設用PF管(呼び径14)、電源ケーブル、アース棒が必要になりますのでご用意ください。
- ・電源用電線ケーブルは、必ず過電流保護付漏電ブレーカーに接続してください。
- ・電源支柱には、D種接地工事を行ってください。

注意2

- ・後レールは光軸調整及びメンテナンス時に取り外しますので絶対に埋め込まないようにしてください。

注意3

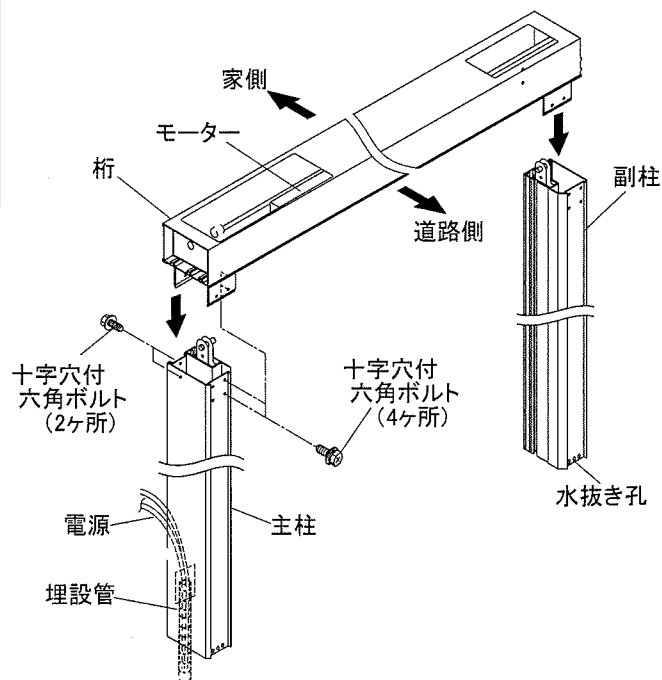
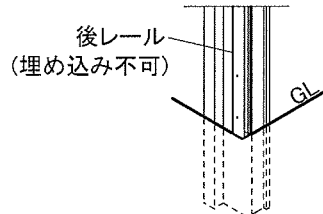
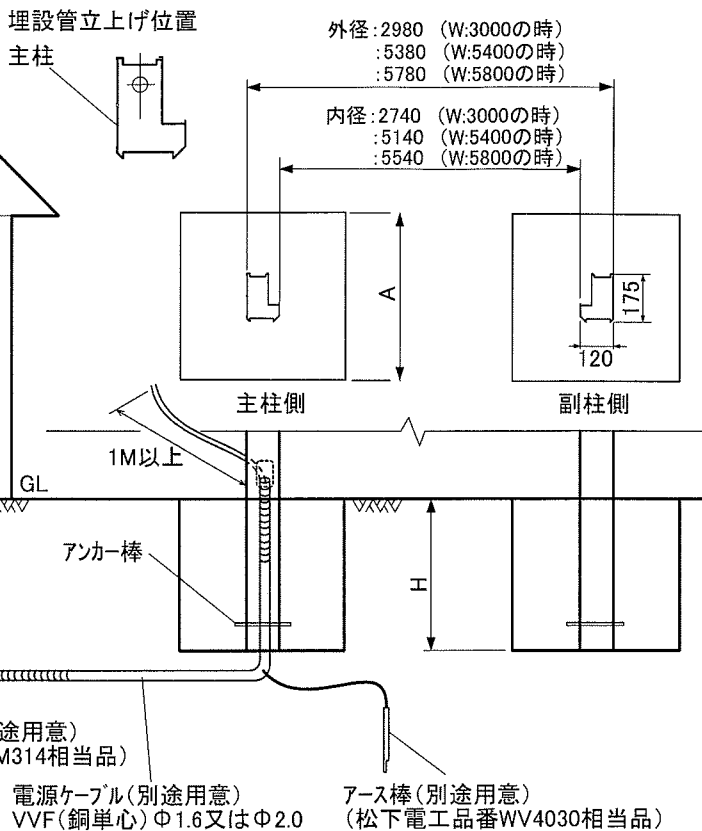
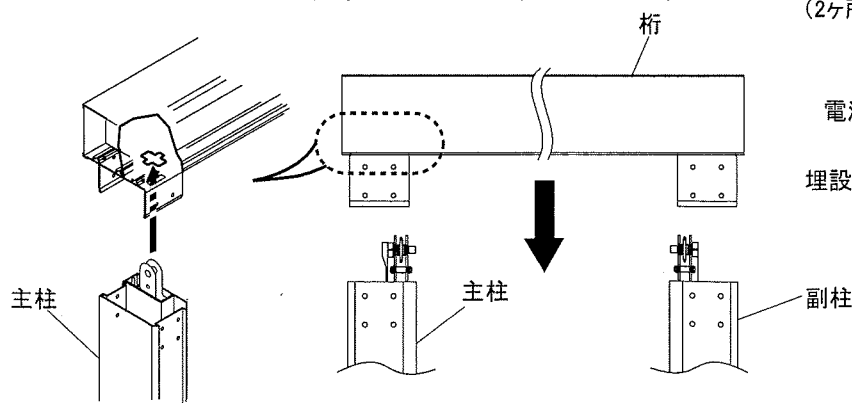
- ・基礎部の大きさは製品ごとに決まっていますが、現場によっては(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分考慮してください。
- ・基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性、安全上重要ですので必ずお守りください。

注意4

- ・基礎施工寸法の柱埋込み位置は、性能や耐久性安全上重要ですので必ず守ってください。
- ・支柱の埋込み位置・高さ・垂直度・水平度を十分に調整してください。調整が不十分な場合、扉の作動に支障が生じる事があります。
- ・水抜き孔は確実にG.L面より上に出してください。水抜き孔より上までモルタルを入れると中に水がたまり、故障の原因になります。

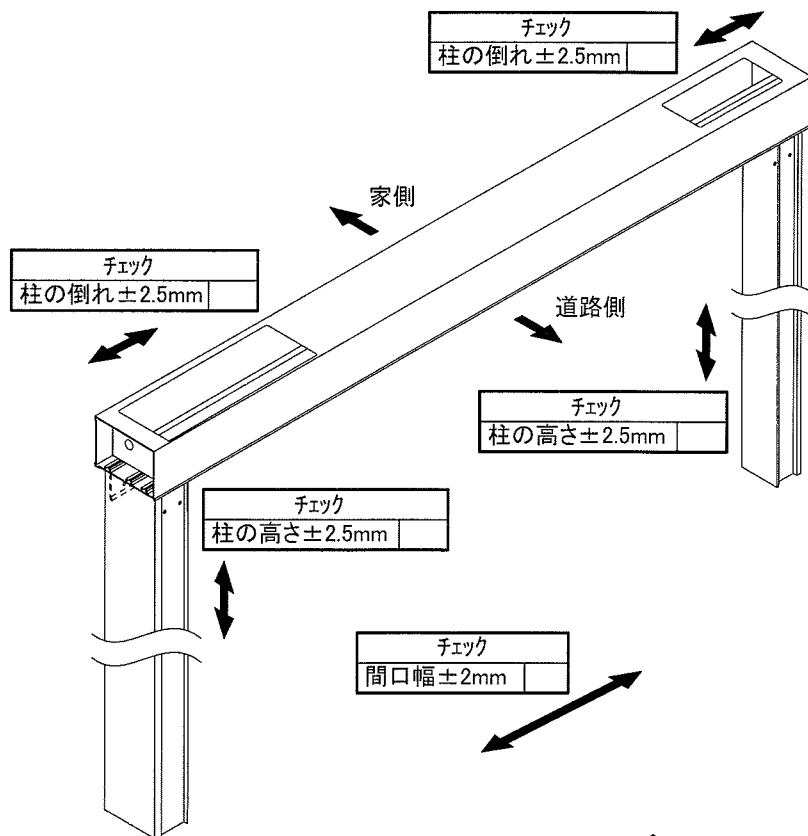
2 桁の取付け

- ① 柱を立てましたら、桁を乗せボルトで止めます。
桁はモーターがある方が主柱側です。
この時にチェーンの切替部分に注意して取付けてください。



3 寸法確認

- ① 「基本寸法図」および「基礎寸法図」を参考にして仮組みした、柱と桁の寸法を確認し必要に応じて調整をしてください。
- ② 調整完了後、全てのビス・ボルト類の締付けを確認してください。
- 各部寸法の許容差
 間口……………±2mm
 柱の倒れ……………±2.5mm
 左右の柱の高さ… ±2.5mm
 (左右の差±2.5mm)



⚠ 注意

- ・ 柱・桁を組立後養生期間をとる場合や雨天時などは、p.13を参照の上、桁に桁カバーを取付けてください。

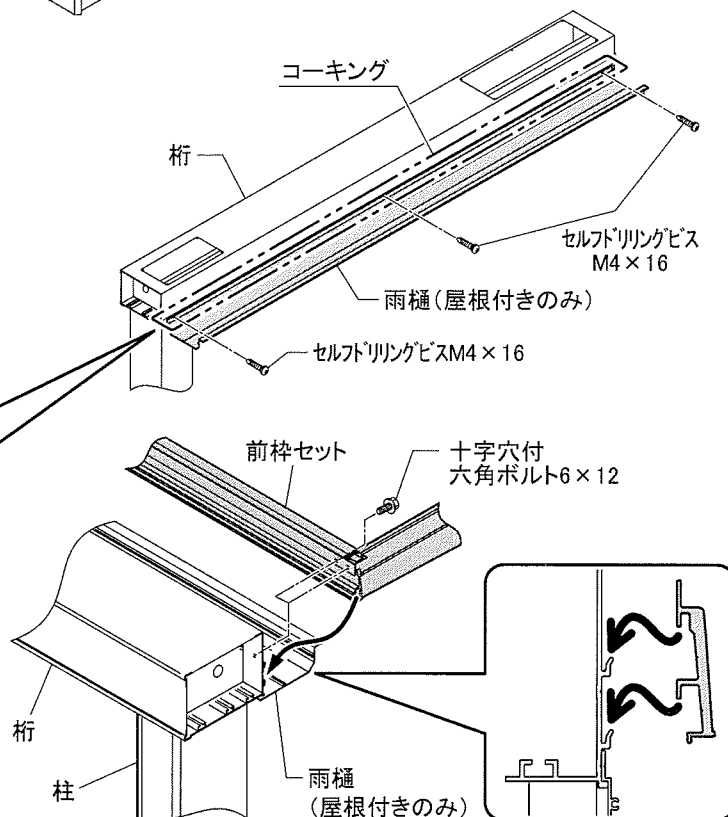
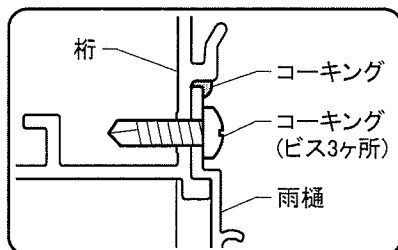
⚠ 注意

- ・ 各部の寸法は、必ず許容範囲に納まるように施工してください。
- ・ 上図のチェック欄にチェックを入れて、確認してください。
- ・ 調整後ビス・ボルト類を確実に締付けてください。

4 前枠の取付け

「EDGE連結ひさし」をご使用の場合で、カーポート「EDGE」を先に施工する場合は前枠セットに連結ひさしを取付けてください。詳しくは「EDGE連結ひさし」取付説明書ME-2040をご覧ください。

- ① 屋根付きの場合にのみ、桁の中央に雨樋を取付けビスで3ヶ所とめ付けます。接合部分にコーキングを施してください。

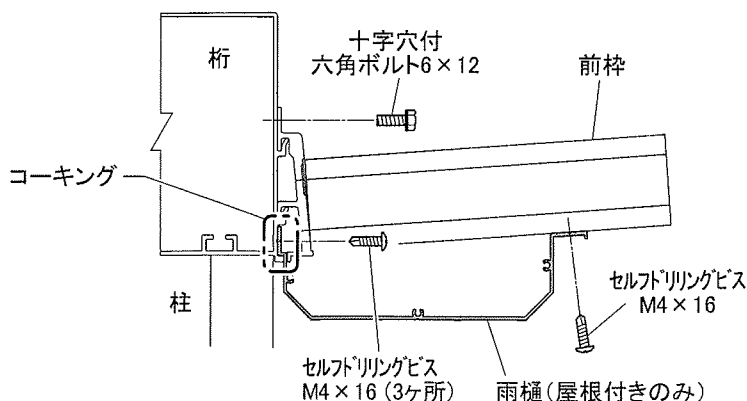


⚠ 注意

- コーキングは確実に行ってください。不十分ですと雨漏れ等の原因になります。

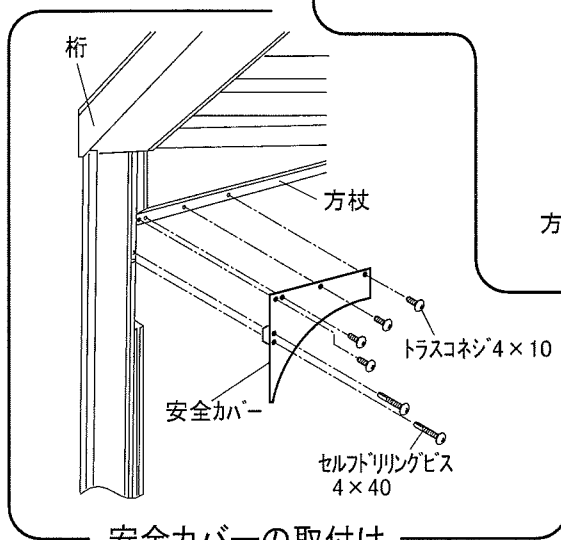
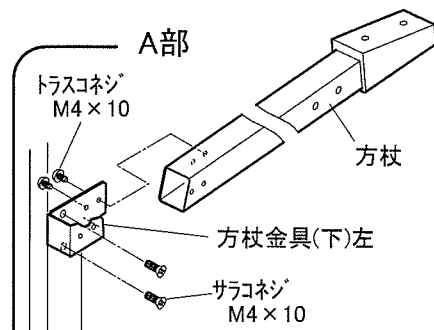
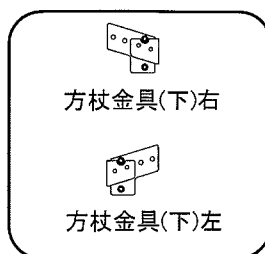
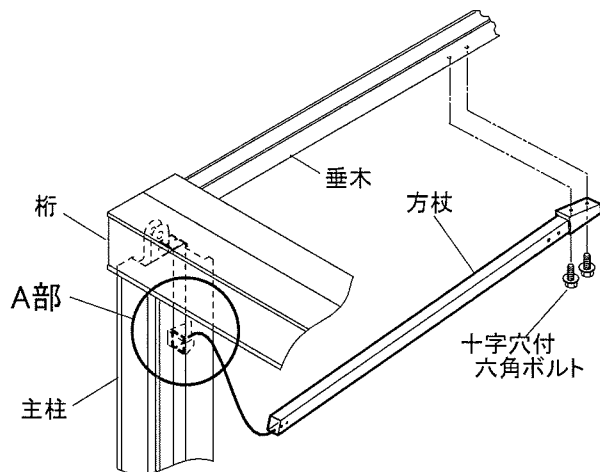
- ② 桁に前枠セットを引っ掛けるように取付けボルトで止めます。前枠は桁より左右に出ないようにします。

- ③ 屋根付きの場合にはさらに、雨樋を垂木にビスで取付けます。



5 方杖の取付け

- ① 方杖金具(下)をサラビスで止めます。
 - ② 方杖金具(下)の方杖に差込んだ状態で方杖の上側をボルトで仮止めします。
 - ③ 柱側のネジ止めをしてから、上側のボルトを止めます。
 - ④ 左右共に同様にします。
 - ⑤ 安全カバーを内部から方杖に左右共に取付けます。
- ※ 方杖金具(下)の左右を間違えないようにしてください。



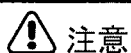
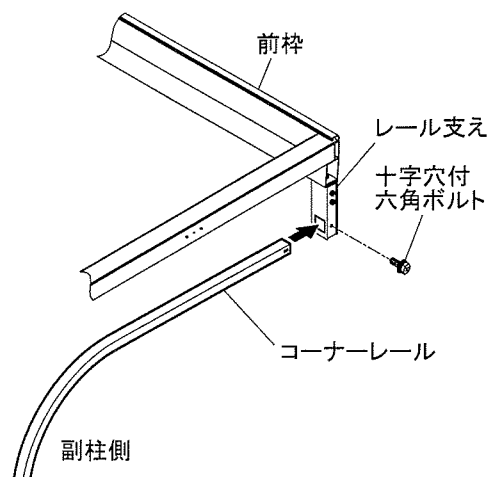
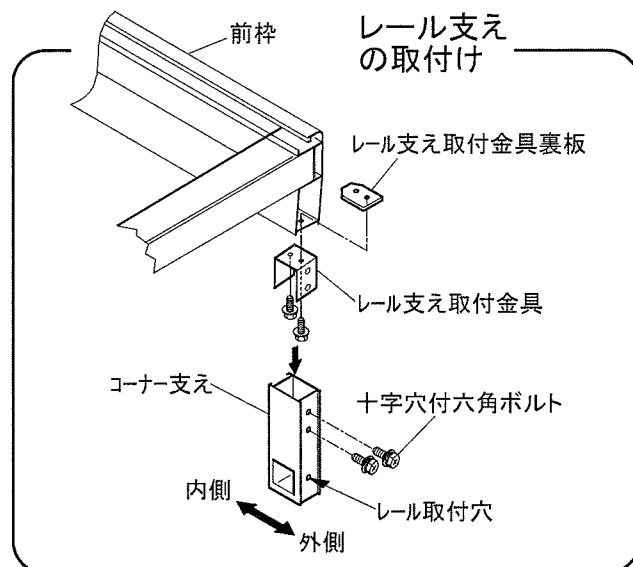
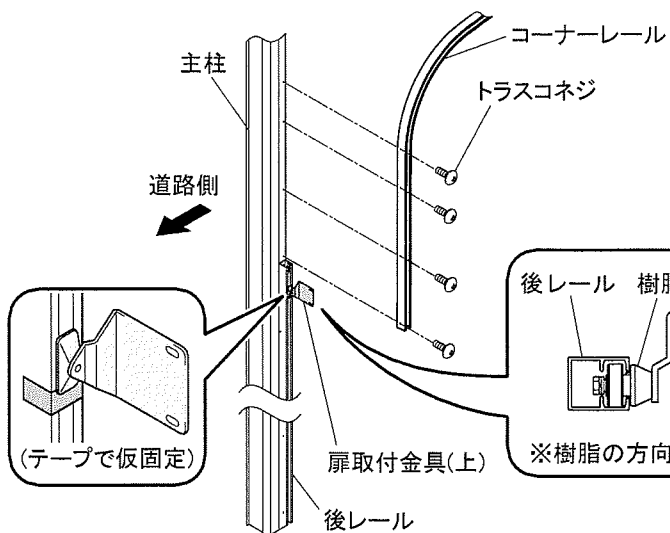
6 レール支えの取付け

- ① 前枠に裏板を入れて、レール支え取付金具の下からボルトで止めます。
 - ② レール支えを金具に差込み、ボルトで止めます。
- ※ レール取付用の穴は、外側になるようにしてください。

7 コーナーレールの取付け

※ コーナーレールは、ビス孔が柱側となります。

- ① 後レールの手前の溝に、扉取付金具(上)のローラーを入れて、落下しないようにテープで仮固定します。
- ② コーナーレールの上端を、コーナー支えの口孔に差込んだまま、柱側に先にネジ止めします。
- ③ コーナーレールとレール支えを、ボルトで止めます。
- ④ 左右共、同様に取付けます。

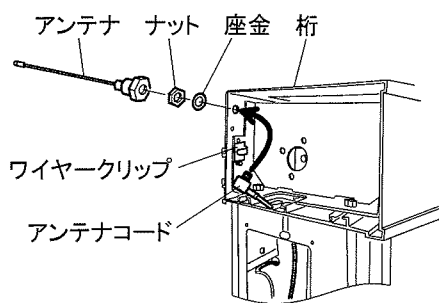


注意

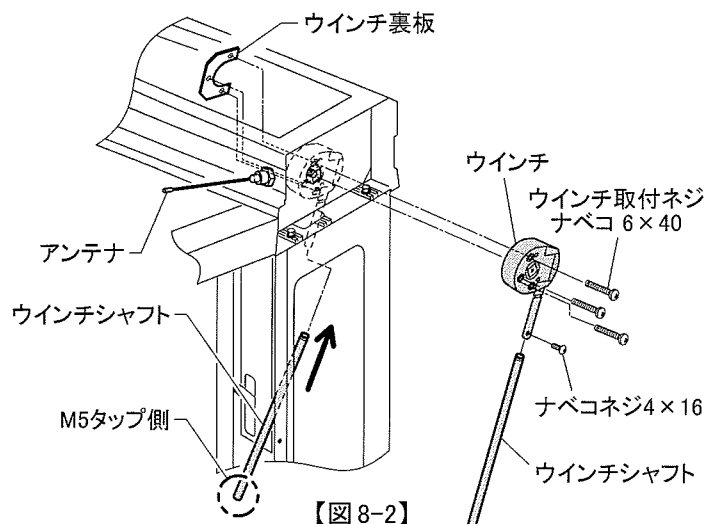
- ・ 扉取付金具(上)が落下しないように、テープなどで仮固定してください。落下しますと、光電センサーや金具が破損することがあります。

8 アンテナ、ウインチの取付け

- ① 柱より桁のウインチシャフト孔を通し、アンテナコードを桁に取付け、ワイヤークリップで固定してください。(図 8-1)

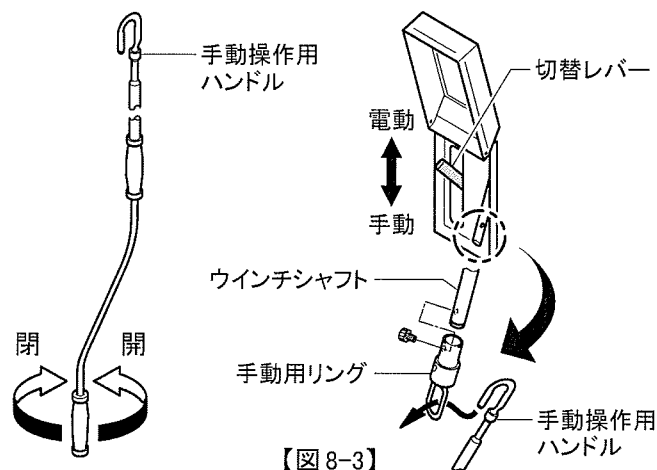


【図 8-1】



【図 8-2】

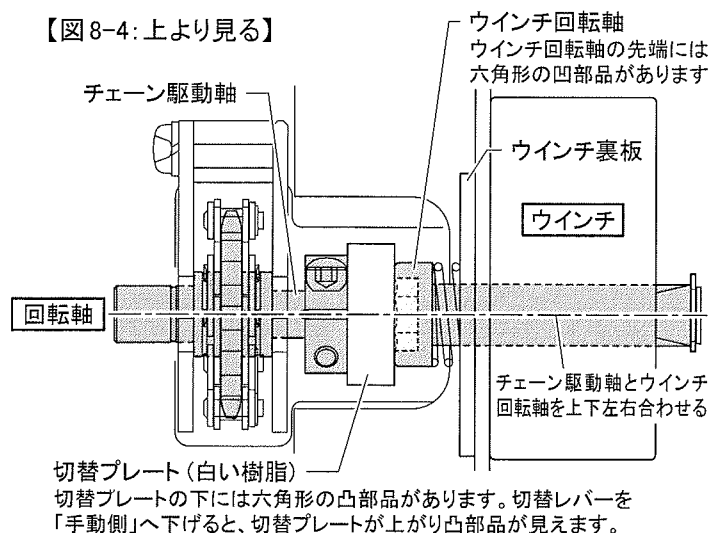
- ② 図 8-2のように、ウインチを桁に取付け(仮止め)ます。
- ③ ウインチシャフトを、M5タップ側を下にしてウインチの軸に向け、柱下方向より差込み、ウインチシャフトとウインチの軸をナベコネジ 4×16で連結してください。
- ④ 位置合わせ用に、手動用リングと手動操作ハンドルを取付けます。(p.17「18 停電時手動開閉の作動確認」を参照)
- ⑤ 電動・手動切替レバーを「手動側」へ下げます。
切替プレート(白)が上方向にスライドして、チェーン駆動軸先端の六角形の凸部品とウインチ回転軸の六角形の凹が、ロック(結合)するように調整します。(内観正面から見たイメージ図(8-5, 6, 7) 参照)
※ このとき、ロック(結合)しない場合は、手動操作ハンドル(p.17)を“開”方向へ少し回転させたり、ウインチの取付位置を上下左右に動かし、必ず六角形同士がロックするように微調整してください。



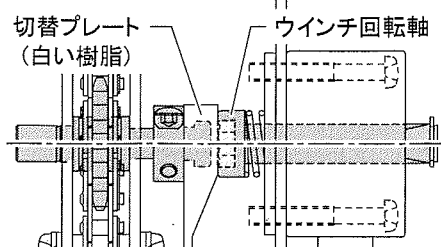
【図 8-3】

- ⑥ 電動・手動切替レバーを「手動側」で、手動操作ハンドル(p.17)を“開”方向へ少し回転させた後「電動側」へ上げます。
この切替がスムーズにできる位置で、ウインチを固定(本締め)してください。
- ※ 電動・手動切替レバーを「電動側」に上げる場合は、手動操作ハンドルを半回転ほど逆方向へ回して止めた後に行ってください。
- ※ 再び切替レバーを手動側にした時、六角形の凸凹がロック(結合)しない場合がありますが、p.17のように手動操作ハンドルを前後に回転させてロック(結合)できれば問題ありません。
- ⑦ ウインチシャフトとウインチを固定(本締め)してください。
- ⑧ 組付け確認後、電動・手動切替レバーは「電動側」へ上げておいてください。
- ⑨ 手動用リングと手動操作ハンドルを取外します。

【図 8-4: 上より見る】

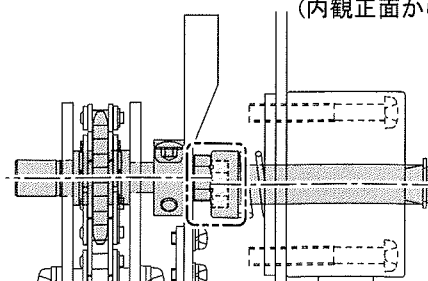


【電動・手動切替レバーが「電動側」の場合】
(内観正面から見たイメージ図)

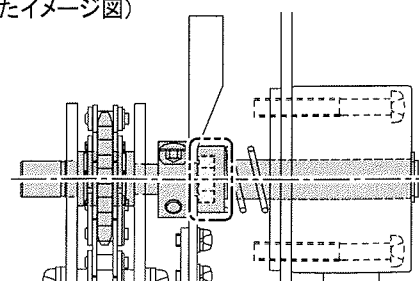


【図 8-5: ロックは解除している状態 (切り離し)】

【電動・手動切替レバーが「手動側」の場合】
(内観正面から見たイメージ図)



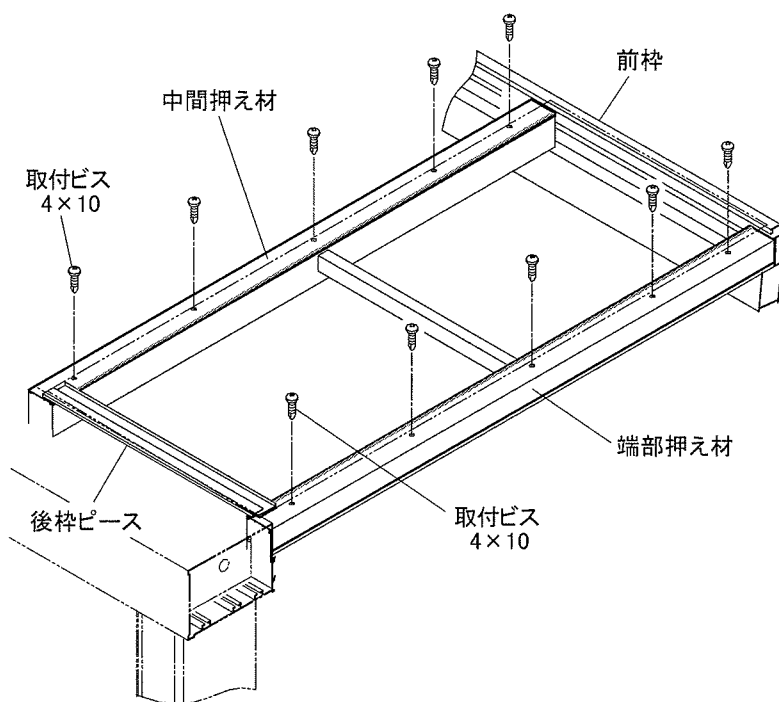
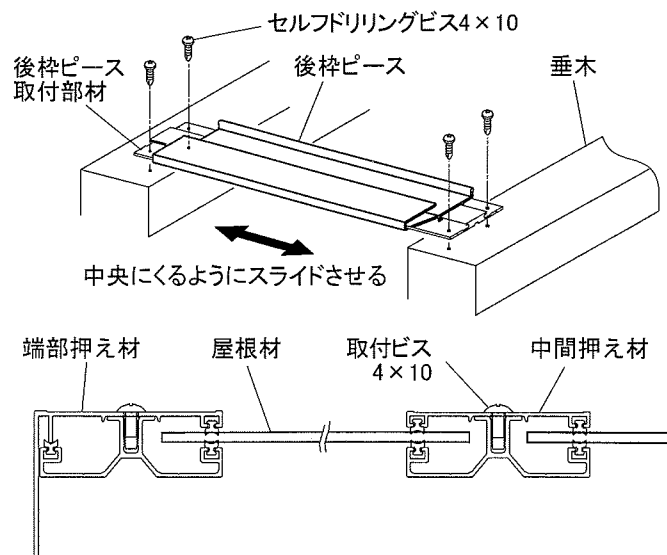
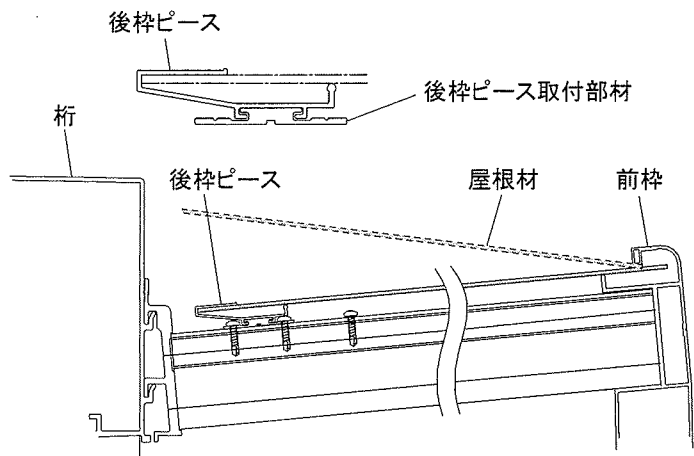
【図 8-6: ロックしていない状態】
(軸ズレし六角形の凸凹が結合していない: 手動操作不可)



【図 8-7: ロックしている状態】
(六角形の凸凹が結合している: 手動操作可能)

9 屋根の取付け (屋根付きの場合のみ)

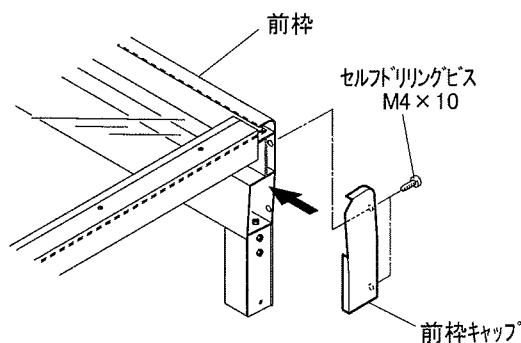
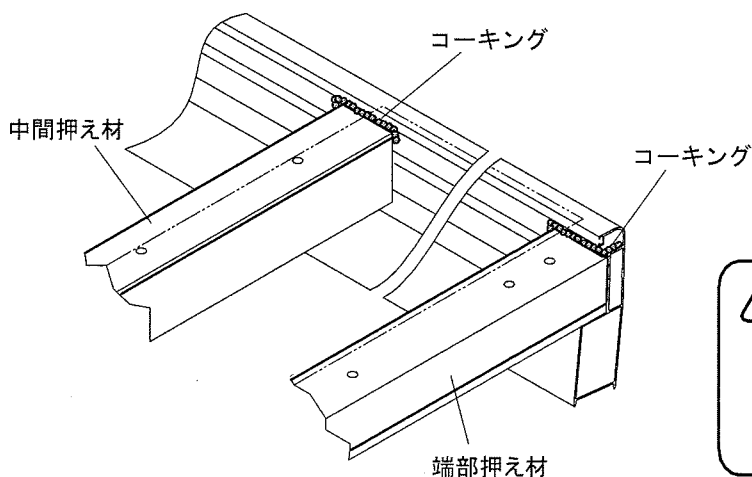
- ① 後枠ピースは後枠ピース取付部材にスライドさせて組合わせます。
- ② 屋根材は前枠側に先に入れて、後枠ピースに突き当てます。
- ③ 端部および中間押えを取付ビスで止めます。



⚠ 注意

- ・ 押え材の取付け時に、インパクトドライバーは使用しないでください。
- ・ ビスが空回りした時は、ペンチで垂木の溝を狭くしてから止め直してください。
- ・ 押え材取付け時に、ビスからの回りを防ぐために、締付けトルク15kgf・cm以下でビス止めしてください。

- ④ 指示部分にコーキングをします。(押え材が前枠とビート部に突き当たる部分と前枠と前枠キャップの連結部にコーキングをします。)
- ⑤ 前枠キャップを付けます。



⚠ 注意

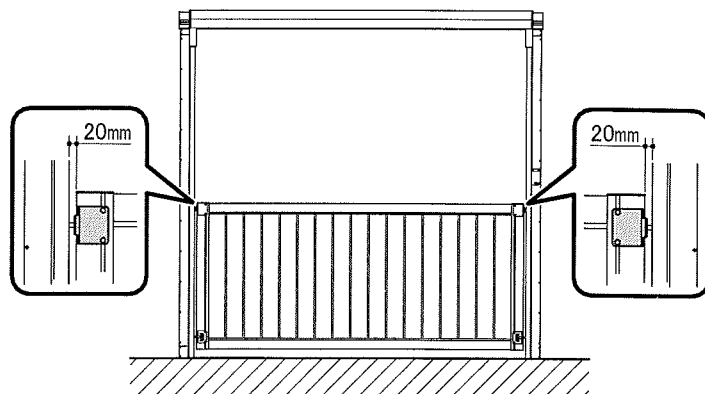
- ① コーキング剤は『ポリカーボネイト・アクリル用』と表記のあるアルコール系シーリング剤をご使用ください。(市販品)
- ② コーキングは確実に行ってください。不十分ですと、雨漏れ等の原因になります。

10 扉の取付け

- 扉を取り付ける前に縦框キャップ、穴ふさぎを取付けてください。
(上下左右4箇所)

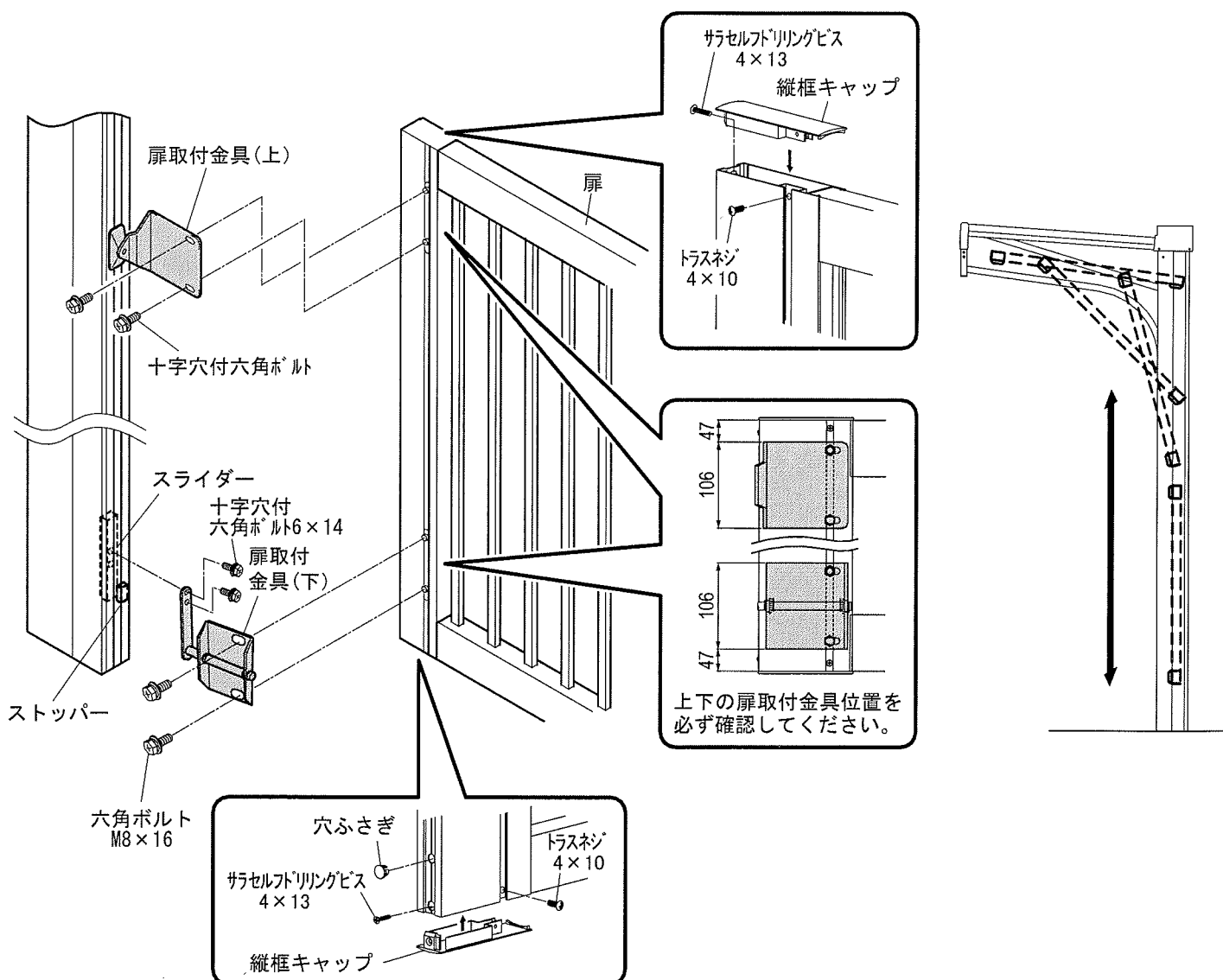
- ① 柱内部(モヘヤの下)にあるスライダーを一番下まで下げます。
(ストッパーにあたります)
- ② 扉取付金具(下)を図のようにボルトで取付けます。(左右共)
このときモヘヤをかみ込まないように注意してください。
(ボルトはスライダーに仮止めしてあるものを使います)
- ③ 扉に組付けてある裏板に合わせて、扉取付金具上・下を取付け
ます。金具は柱に垂直に取付けてください。
柱と扉のクリアランスは左右共に20mmです。

※ 動作確認…スムーズに動くか、手で2～3回上下させます。



⚠ 注意

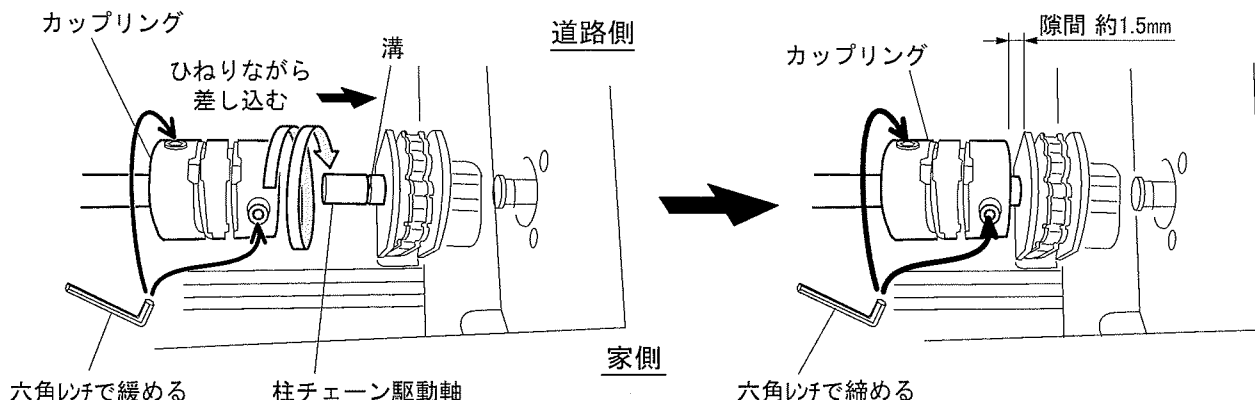
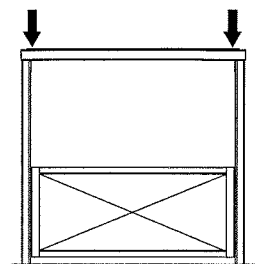
- ・ 扉の下框中央を持ち上げるようにしてください。
- ・ 扉は、重量が25kg程度あります。途中で手を離すと、扉が落下してケガや破損の原因となりますので、十分にご注意ください。



11 シャフトの連結

- ※ 扉がスムーズに動くことを確認後、桁内部で電動シャフトと桁内チェーン駆動軸を連結します。
- ※ 扉が下りきって、ストッパーに当たっていることを確認してください。

- ① カップリングのボルトを緩めてから、柱側のシャフト目印(溝)手前まで差し込んでボルトを締めます。左右同様にします。このとき道路側に向かってひねりながら差し込みますとチェーンの張りが緩まないように差し込むことが出来ます。(カップリングの締付けには付属の六角レンチを使用してください。)



⚠ 注意

- ・ カップリングの締付けは確実に行ってください。(推奨トルク70kgf・cm)
- ・ この部分のボルトの締付けが不十分ですと扉開閉不具合の原因となります。

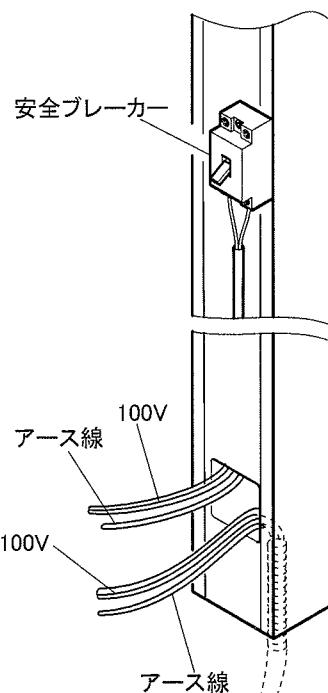
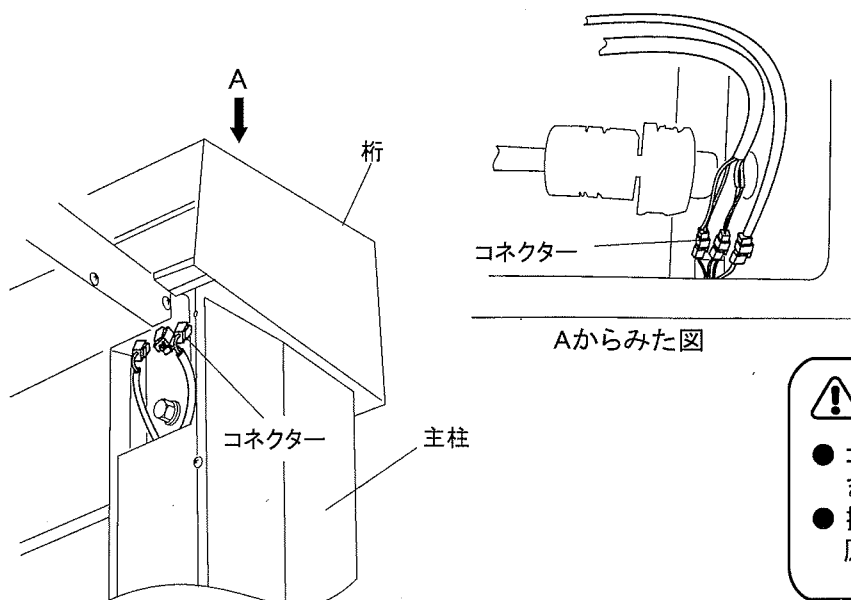
12 コネクター類の接続

12-1 電源線の接続

- ① 基礎で引込んだ電源線・アース線と、柱から出ている各々の線を結線します。

12-2 コネクターの接続

- ・ 柱側のコネクターを桁内部へ移動し、コネクターに貼ってある番号シールの番号どうし接続します。
- ・ 接続後駆動系の回転部分が、当たらないように固定具で止めます。
- ・ 主柱は3ヶ所・副柱は1ヶ所(光電センサー付の場合は3ヶ所)接続します。



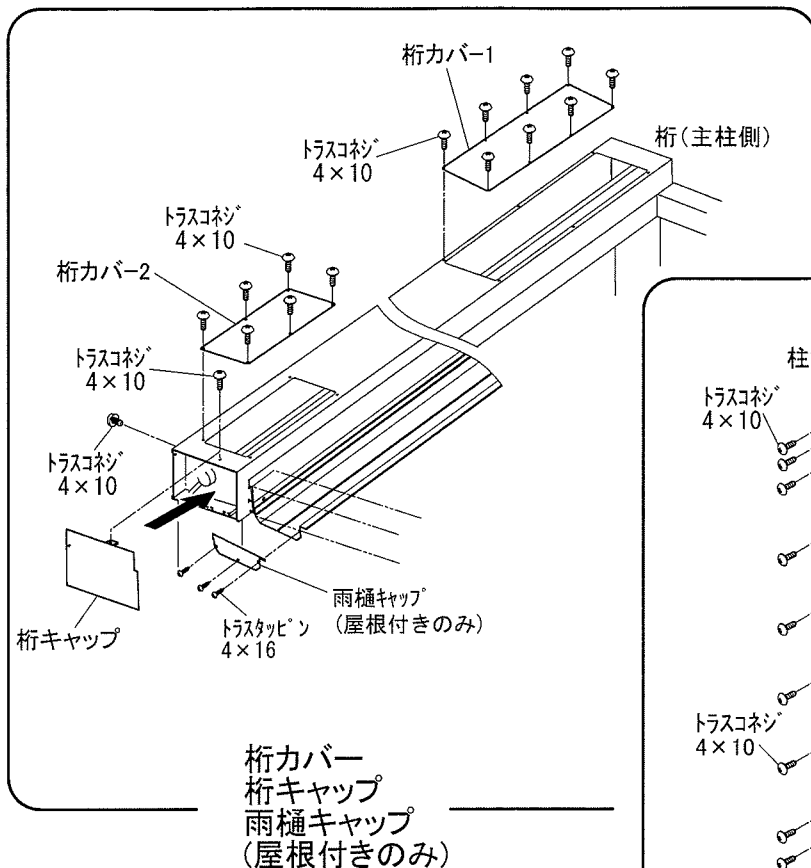
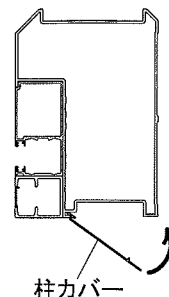
⚠ 注意

- コネクターはツメが掛かるまで差し込んでください。また、差し込みが抜けかないかどうか確認してください。
- 接続が不十分ですと、動かなかったり不具合の原因になります。

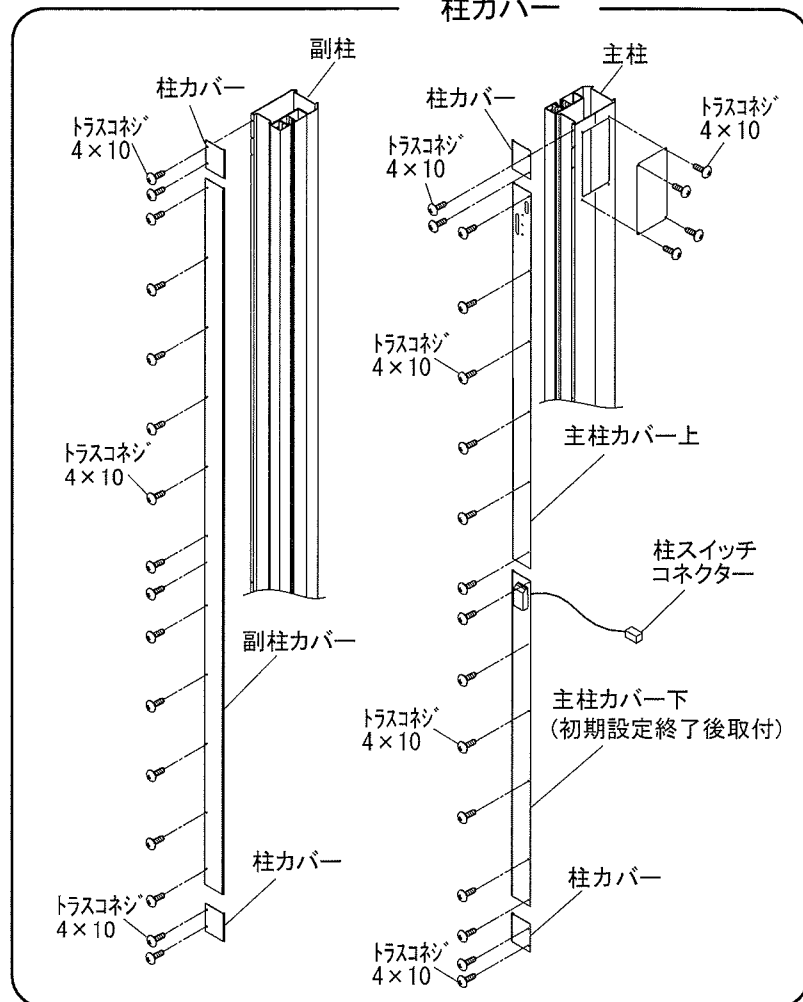
13 カバー・キャップ類の取付け

- 図のように、柱カバーを上からそれぞれネジで止めます。
この時に主柱カバー下の、柱スイッチのコネクタを
柱内部のコネクタに接続します。

柱カバーの入れ方

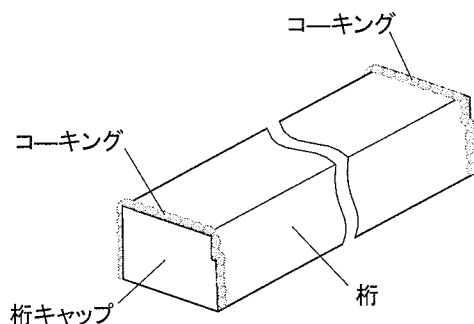


柱カバー



桁キャップのコーキング

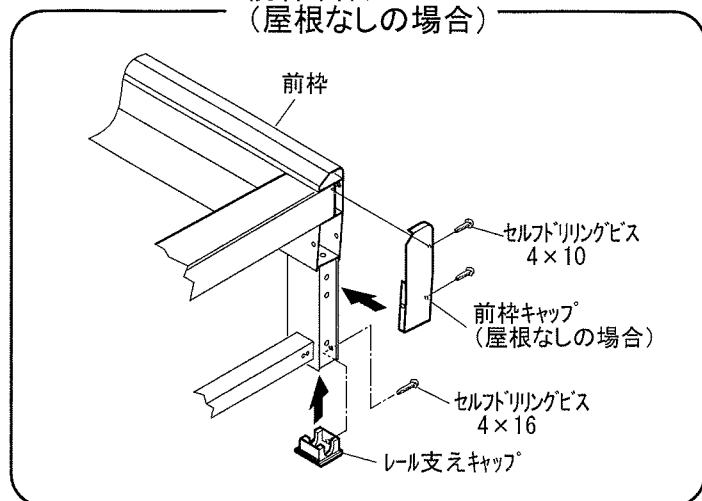
- ※ 作動確認(p.16, 17)が完全に終了しましたら左右
桁キャップの前・後・上面にコーキングを施して
ください。
(調整前にコーキングをしないでください。)



⚠ 注意

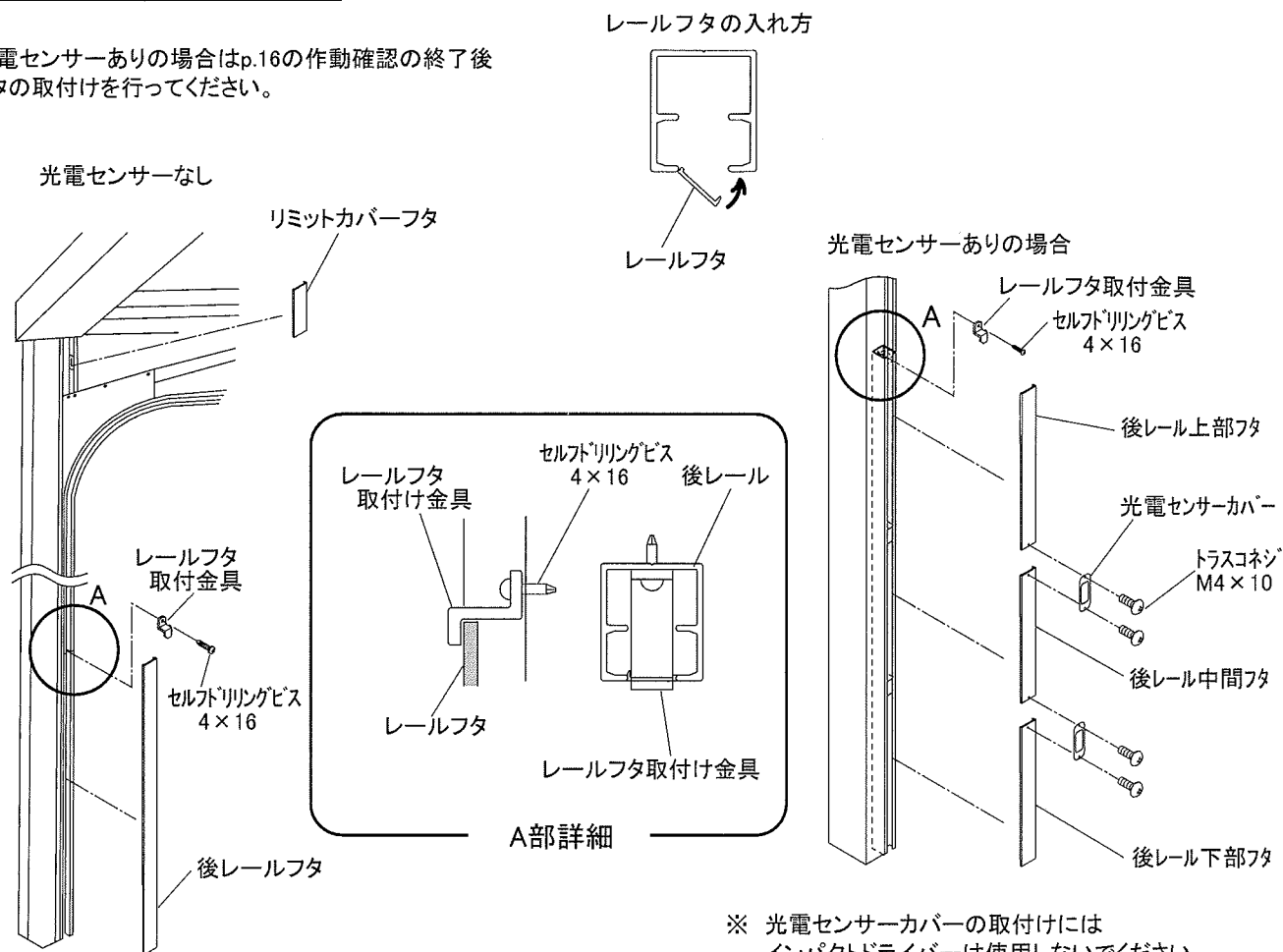
- コーキング剤は『ポリカーボネイト・アクリル用』
と表記のあるアルコール系シーリング剤をご使用
ください。
- コーキングは確実に行ってください。不十分で
すと、雨漏れ等の原因になります。

前枠キャップ
(屋根なしの場合)



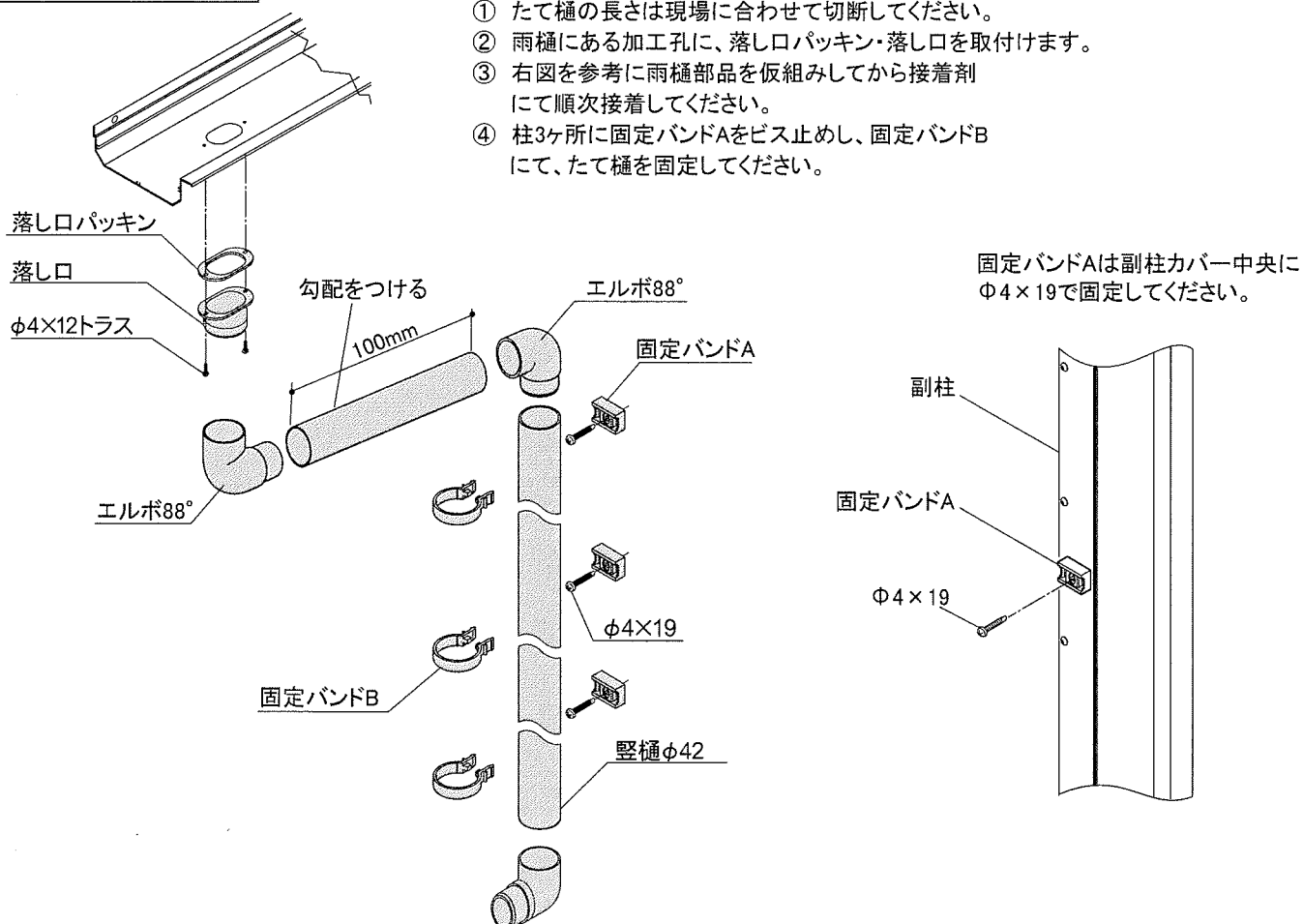
14 レールフタの取付け

※ 光電センサーありの場合はp.16の作動確認の終了後フタの取付けを行ってください。

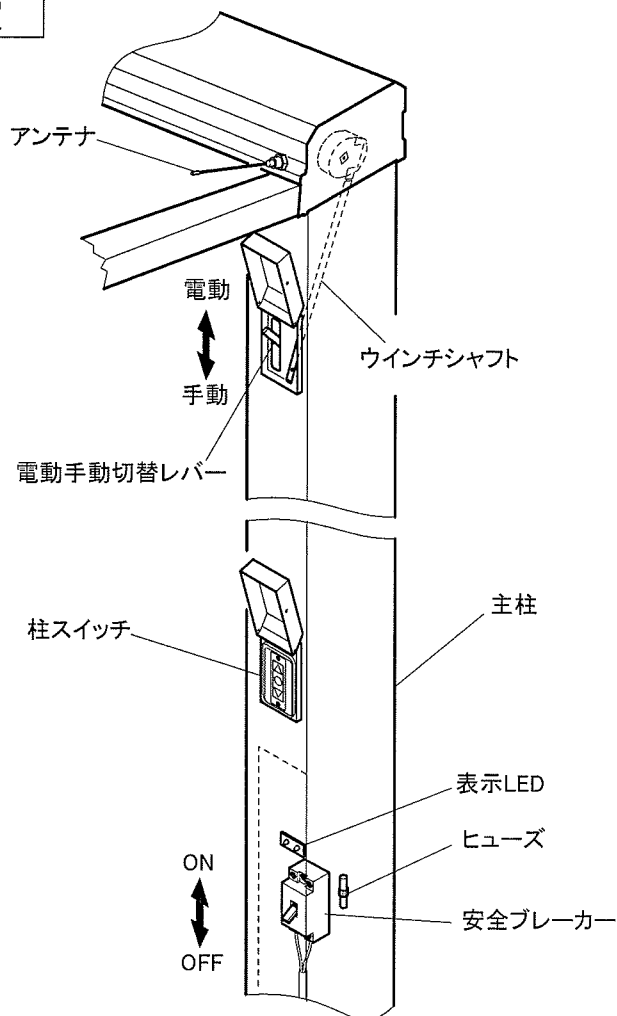


15 雨樋の組立

- ① たて樋の長さは現場に合わせて切断してください。
- ② 雨樋にある加工孔に、落し口パッキン・落し口を取付けます。
- ③ 右図を参考に雨樋部品を仮組みしてから接着剤にて順次接着してください。
- ④ 柱3ヶ所に固定バンドAをビス止めし、固定バンドBにて、たて樋を固定してください。

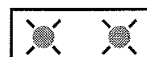


16 初期設定

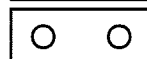


【LEDのランプ表示】

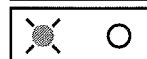
通電時点灯します。 切替レバーが電動時に点灯します。



.....電動操作できます。



.....停電しています。



.....切替レバーが手動です。



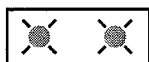
注意

・扉を開閉させますので、障害物は事前に取り除いてください。

【準備】

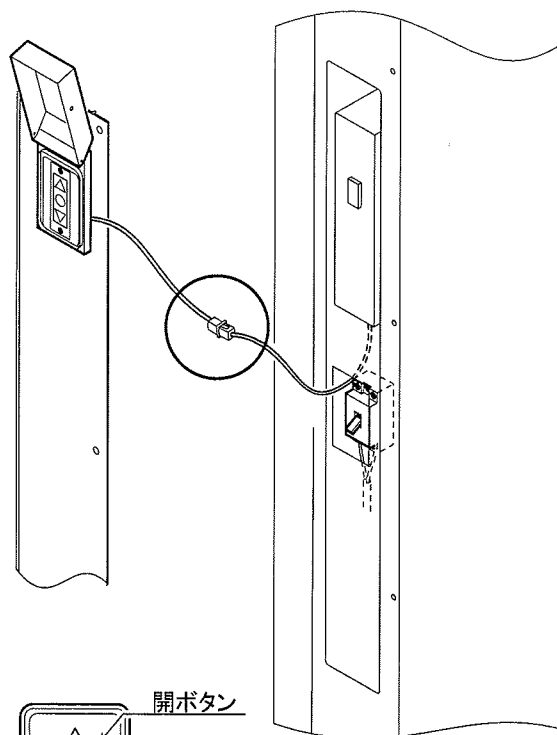
- ① 主柱カバー下に付いている柱スイッチのコンネクターをテープ仮止めのコンネクターとつないでください。
注:ここでは柱カバーを取付けないでください。
柱カバーを曲げたり、倒したりしないようご注意ください。

- ② 安全ブレーカーを“入”にしてLEDが両方点灯するか確認します。



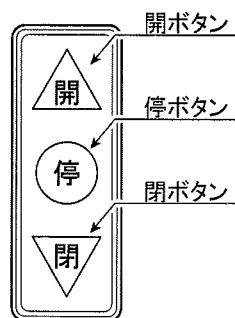
.....電動操作できます。

- ・点灯しない場合は11ページを参照して電源を確認します。
 - ・光電センサー付の場合は17ページを参考にして合わせてください。
- ③ 点灯が確認出来たら、“切”にしてください。



【設定】

- ① 押しボタンスイッチ“停止”を押したまま、電源スイッチ(安全ブレーカー)を『入』にしてください。
(受信機電源ランプが点灯し、ブザーが2回鳴ります)
- ② 押しボタンスイッチの“開”を押し、全開させてください。
- ③ 押しボタンスイッチの“閉”を押し、全閉させてください。
- ④ もう一度②③を行い2往復させてください。
- ⑤ 押しボタンスイッチの“停止”を押し(押したまま離さないこと)5秒後に設定が完了します。(ブザーが2回鳴ります)
- ⑥ 主柱カバーをトラスビス4×10で取付けます。



17 作動確認

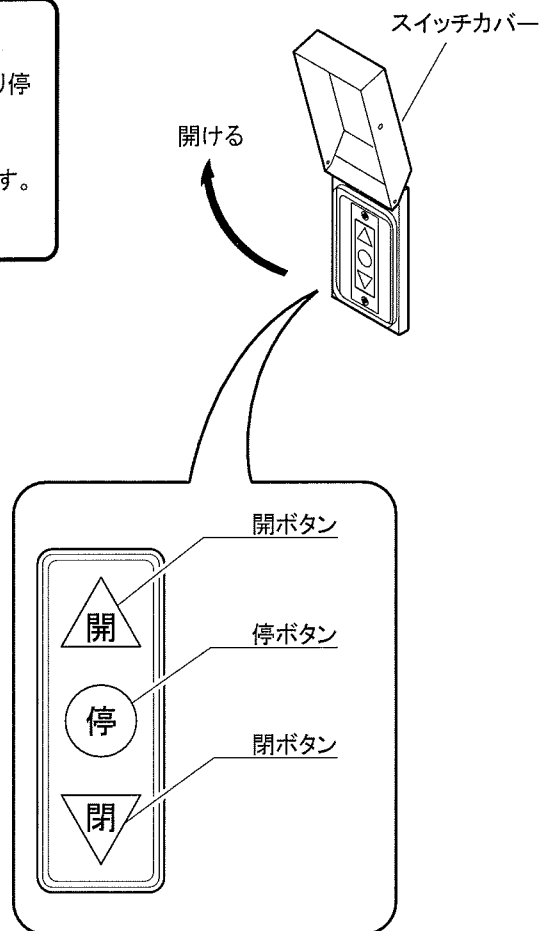
⚠ 注意

- ・ 開・閉動作中にそれぞれ逆方向操作をする場合は、必ず一度停止ボタンにより停止してから次のボタン操作をしてください。
- ・ 扉の開閉時には、障害物がないことをご確認ください。
特に、小さいお子様には十分注意してください。思わぬケガをすることがあります。
- ・ 動作中は、扉から目を離さないでください。

17-1. 柱スイッチでの操作

※ スイッチカバーを開けて操作を行ってください。

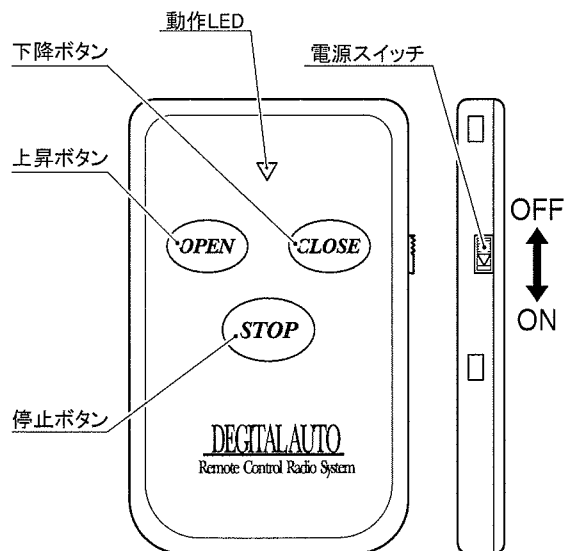
- ・ 開ボタンを押すと、扉が開きます。(1度押せば全開まで作動します。)
- ・ 停ボタンを押すと、扉が停止します。(動作途中で停止します。)
- ・ 閉ボタンを押すと、扉が閉じます。(1度押せば全閉まで作動します。)



17-2. リモコン送信機での操作

- ・ リモコン送信機は、出荷時に登録済みで電池も入っていますので、そのまま使用できます。

- ① 送信機側の電源スイッチを▽方向にスライドさせ電源を入れてください。
 - ② 動作させる方向の送信機の押しボタンを確認して、送信機を受信機のアンテナに向けて軽く押してください。
自動車の車内から操作する場合は、フロントガラスに近づけて操作してください。
押している間、動作LEDは点灯します。
 - * 金属物や鉄筋コンクリート(壁・電柱等)の障害物がある場合、動作距離が短くなることがあります。
(通常は、見通し距離で約10m)
 - * 本体の動作中は、目を離さないようにしてください。
- 送信機の電源を切ってください。
- ③ 電源スイッチ▽方向と逆方向にスライドさせて電源を切ってください。

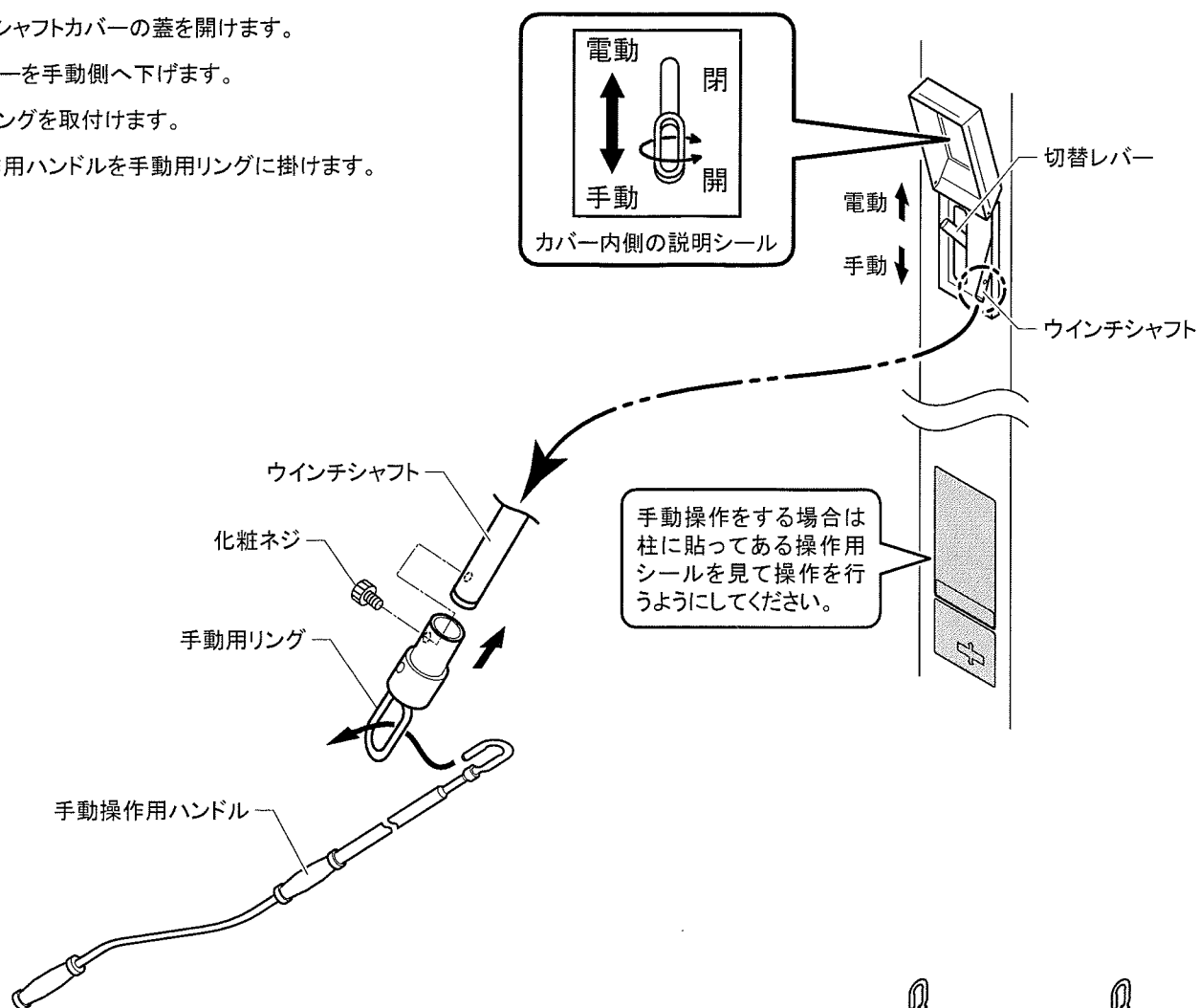


⚠ 注意

- ・ 送信機の電源スイッチを切り忘れた場合、誤って押しボタンが押されると本体が動作しますので大変危険です。
- ・ 車を運転しながら、操作はしないでください。
- ・ 扉が動作中に人や車、障害物に衝突した時に、大事故を防ぐために安全装置を設定しています。
閉操作中に安全装置が作動した場合、約1秒後退し停止します。

18 停電時手動開閉の作動確認

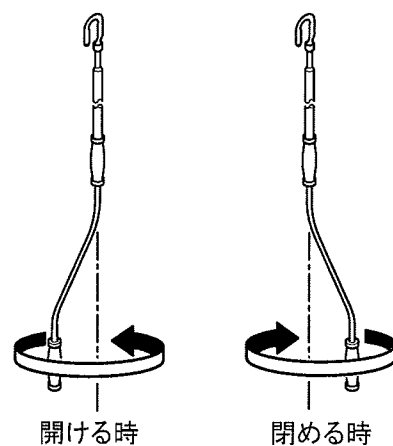
- ① ウインチシャフトカバーの蓋を開けます。
- ② 切替レバーを手動側へ下げます。
- ③ 手動用リングを取付けます。
- ④ 手動操作ハンドルを手動用リングに掛けます。



【扉を開ける場合】

- ① 手動操作ハンドルを“開”へ回転させて扉を上昇させます。
下げる時は手動操作ハンドルを反対へ回します。

※ 上記の操作をしても扉を上下動できない場合は、完全に手動操作に切り替わっていない状態です。操作ハンドルを、半回転ほど戻したり回したりを繰り返すことで、完全に切り替わります。

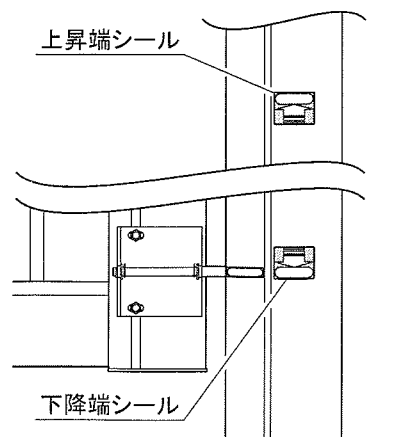


【手動から電動への切替】

- ① 回していたハンドルを半回転程度戻し(逆に回す)止めます。
- ② 切替レバーを電動側へ上げてください。
(この時レバーが動きにくい場合は、無理に動かさず手動操作ハンドルを半回転ほど正・逆転させてください。場合によっては2、3回行ってください。)
(切替レバーは無理に押し上げないでください。)
- ③ 取付けた逆の手順で手動用リングを外し、ウインチシャフトカバーの蓋を閉めてください。

⚠ 注意

- ・ 扉が下降端にある場合はそれ以上、下げないでください。部品が破損します。
- ・ 扉が上昇端にある場合はそれ以上、上げないでください。部品が破損します。
- ・ 手動で操作する場合は、下降端・上昇端のラインシールの範囲内で行ってください。

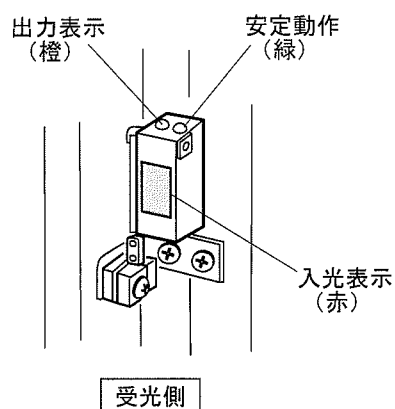
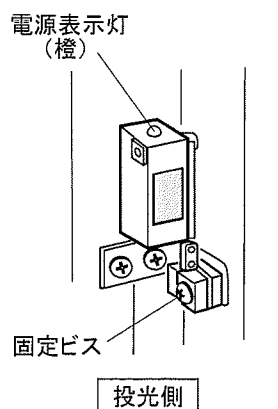
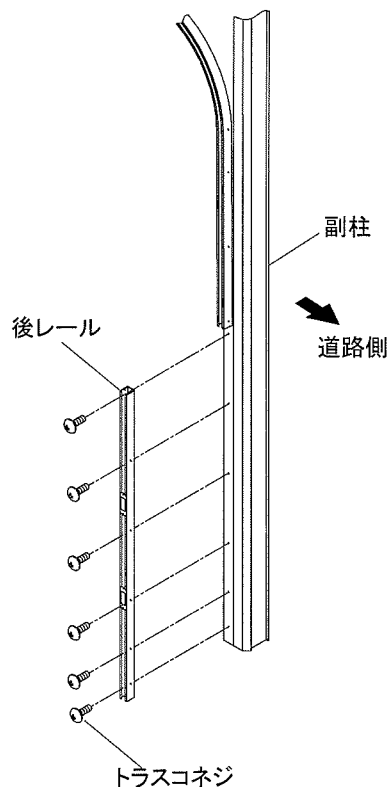
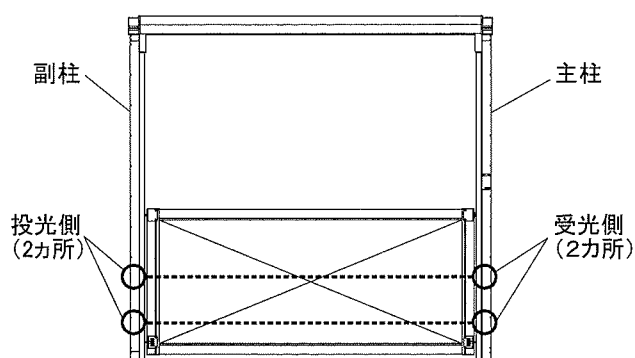


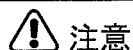
19 光電センサーの合わせ方

【光電センサー付の場合】

- ・ 仮固定で工場出荷してますので施工後必ず光軸調整を行ってください。
- ・ 光軸調整には後レールを外してください。
- ・ 光軸調整は障害物が無い状態で行ってください。

- ① 投光側電源表示灯が点灯しているか確認してください。
点灯していない場合は電源、配線を確認してください。
- ② 受光側を投光側に正対させて固定します。
投光側センサーを上下左右に動かし、受光側の出力表示灯(橙)が
消灯し、入光表示灯(赤)が点灯し、かつ安定動作表示灯(緑)が点灯
する範囲の中心でセンサーを固定します。この後受光側も同様に調整
します。
上側、下側別々に設定してください。
(光軸がわかりにくい場合は周囲が暗くなってから再確認をお願いします。)
- ③ 光線を遮光して、出力表示灯(橙)が点灯し、入光表示灯(赤)が消灯し、
かつ安定動作表示灯(緑)が点灯することを確認してください。





注意

- ・ カップリングを緩めての調整作業は、必ず扉下降端で行ってください。下降端以外での作業は、扉が落下してケガをしたり、金具の破損につながり危険ですので、絶対に行わないでください。

【扉の調整】

このようなとき	点 検	処 置									
扉がひどくガタついたり、停止してしまう	1. 扉の取付位置の確認 扉取付金具(上)・扉取付金具(下)が正しい位置で、左右同じ高さに取付けられているか確認します <table><tr><td></td><td>左</td><td>右</td></tr><tr><td>扉取付金具(上)</td><td>mm</td><td>mm</td></tr><tr><td>扉取付金具(下)</td><td>mm</td><td>mm</td></tr></table>		左	右	扉取付金具(上)	mm	mm	扉取付金具(下)	mm	mm	・ p.11「10 扉の取付け」参照 正しい位置に取付けてください (金具の端面から縦框の端面まで47mm) ・ 柱と扉間の寸法は、左右の間隔がそれぞれ20mm(均等)になるよう調整してください。
		左	右								
	扉取付金具(上)	mm	mm								
扉取付金具(下)	mm	mm									
2. 金具の向きの確認 扉取付金具(上)・扉取付金具(下)の向きが、柱に対して垂直であるか確認します	・ p.11「10 扉の取付け」参照 正しい向きに取付けてください (金具の取付穴(長穴)のセンターが基本ですが、状況によって調整してください)										
3. 扉の左右の吊位置 扉を上昇端で停止させ、桁下から扉下框までの寸法が左右同じであるか確認します <table><tr><td></td><td>左</td><td>右</td></tr><tr><td>桁下ー扉下框 の寸法</td><td>mm</td><td>mm</td></tr></table> ・ 桁下寸法は左右同じが基本ですが、現場の状況で若干のズレが好条件である場合もまれにありますので、適宜調整をお願いします		左	右	桁下ー扉下框 の寸法	mm	mm	 注意 ・ カップリングを緩めての調整は、扉下降端で行ってください。 1) 扉を下降させ、下降端で停止させます 2) 桁下寸法の短かった側のカップリングの、柱側のボルトから緩めます 3) 扉が“カツン”と下がり、左右のズレが解消されます 4) チェーンの張りを緩めないように、カップリングのボルトを締めます (ボルトはしっかりと閉め込んでください) p.12「11 シャフトの連結」参照				
	左	右									
桁下ー扉下框 の寸法	mm	mm									

【ウインチの調整】

このようなとき	点 検	処 置
電動・手動切替レバーが、電動方向へ切り替わらない	1. 無理に押し上げず、p.17「18 停電時手動開閉の作動確認」を参照して、ゆっくり操作してください	・ 無理に押し上げず、p.17「18 停電時手動開閉の作動確認」を参照して、ゆっくり操作してください
	2. それでも切り替わらない場合は、ウインチの取付位置を調整します	・ p.9「8 アンテナ、ウインチの取付け」参照 ウインチ取付けネジ(6×40)3本を緩め、回転軸をあわせて、取付位置を調整してください

【安全装置について】

- ※ 強風などで安全装置が作動し、扉が停止する場合がありますが、故障ではありません。
(取扱説明書 p.5を、合わせてご確認ください。)
- 周囲の安全を確かめて、再び操作ボタンを押してください。

施工工事店様、販売店様へのお願い

— お願い —

この施工説明書は施工完了後、下記の欄へ必要事項を記入してお施主様へお渡しください。

施 工 完 了 日	年 月 日
施 工 工 事 店	TEL () -
販 売 店	TEL () -
商 品 名	ウイングエッジ

この商品についてのお問い合わせ、ご相談は下記の窓口でも承っておりますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

新日軽株式会社

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室  0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ <http://www.shinnikkei.co.jp>